

## 研究課題の名称

### 希少ドライバー遺伝子異常を有する進行期または術後再発非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法の治療効果および有害事象に関する後方視的研究

京都第一赤十字病院呼吸器内科では、ドライバー遺伝子変異を有する肺癌の患者さんを対象に免疫チェックポイント阻害薬と抗がん剤の併用療法の効果を予測する臨床研究を実施しております。実施にあたり京都第一赤十字病院倫理委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

## 研究の目的及び意義

この多施設共同観察研究では、ドライバー遺伝子異常を有する非小細胞肺癌患者に対して免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法を行った場合の治療効果や安全性に関して、免疫チェックポイント阻害薬単剤やプラチナ併用化学療法を行った場合と比較して調査を行います。現在のところドライバー遺伝子がある非小細胞肺癌について、治療効果に影響を与える因子は明らかになっておらず、これらの解析により適切な治療方針の検証が可能となり、その成果を実際の診療に還元できる可能性があります。

## 研究対象となる患者さんについて

- ・2017年4月から2021年4月まで当院で非小細胞肺癌と診断されたIII期、IV期もしくは術後再発の方でEGFR、ALK、KRAS、MET、ROS1、HER2(ERBB2)、BRAF、RET、TP53等の遺伝子陽性の患者さん
- ・免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法または免疫チェックポイント阻害薬単剤またはプラチナ併用化学療法を受けられた患者さん

## 研究に用いる情報について

病歴、抗がん剤治療の治療歴、カルテ番号 等

## 研究予定期間

倫理委員会承認時から2023年9月30日まで

## お問い合わせ先

京都第一赤十字病院 臨床腫瘍部/呼吸器内科 塩津伸介  
電話：075-561-1121(代表)